

千葉市科学フェスタ2011

<メインイベント>2011年10月8日(土)~10月10日(月・祝)

日常生活の中で科学・技術を身近に感じることができる、総合的な科学の祭典です。



これからの
千葉市科学フェスタ 2011
私たち 現在のあなたから
未来のあなたへ

サイエンスカフェ・対話型講義・実験教室 参加者募集のご案内

場所：Qiball(きぼーる) 13階 千葉市ビジネス支援センター

定員：イベント(1)と(2)は35名、(3)は60名、(4)は各回40名 **参加費**：無料

(1) 地震学研究 最前線

「地震の予測はどこまで可能か —過去を知って将来に備える—」

東日本大地震は「想定外」とよく言われますが、実は地層に記録された過去の津波の痕跡が、この地震を予測していました。将来の地震予測は本当に可能なのか、一緒に語り合しましょう。

日時 10月9日(日) 10:00~11:30

講師 宍倉 正展 (産業技術総合研究所 海溝型地震履歴研究チーム長)



(2) 防災コミュニケーション

「災害に備えて、今私たちが出来ること」

東北地方太平洋沖地震とはどんな地震だったのか…。今を知り、地震や津波を正しく恐れることで、防災に結びつけるには何が必要か、一緒に語り合しましょう。

日時 10月9日(日) 14:00~15:30

講師 大木 聖子 (東京大学地震研究所 助教)



(3) 対話型講義

「これからの“科学”と“私達”を考えよう —3.11を通して—」

大震災や原発によって問われた、科学のあり方と私達社会との関係。これを哲学という観点から考えます。千葉県が直面している問題(房総沖地震、県のエネルギー自給率、食品の汚染問題 他)を皆さんと共に議論していきましょう。

日時 10月10日(月・祝) 14:00~16:00 (延長あり)

講師 小林 正弥 (千葉大学大学院 人文社会科学部 教授)

(4) よくわかる放射線教室

実験をとおして放射線の特徴や性質を調べましょう。放射線の観察ができる霧箱の工作もあり、作った霧箱はお持ち帰りできます。

日時 10月9日(日)、10日(月・祝) ①10:00~11:30 ②14:00~15:30

講師 舟生 武司(大阪科学技術センター)

対象 小学4年生以上 ※保護者同伴の場合は小学3年生以上



身近なものを測定器で測ってみると!?

応募方法 FAXもしくはメールに、ご希望のイベント番号を記入し、以下の内容を明記((2)~(5)は参加者全員分、(6)・(7)は代表者のみ記入)の上、ご応募ください。

- (1)希望するイベント番号 (2)氏名、ふりがな (3)年齢 (4)性別
(5)学年または職業 (6)郵便番号、住所 (7)電話番号
(8)イベント4を希望した方のみ、ご希望の日程(9日もしくは10日)と時間帯(①または②)

宛先

FAX : 043-308-0520
メール : festa-sc@kagakukanQ.com

※受付期間 平成23年9月26日(月)~ 定員になり次第、締め切ります。

お問合せ

千葉市中央区中央4丁目5番1号 きぼーる7階 千葉市科学館内
千葉市科学フェスタ事務局
電話 043-308-0519
メール festa-sc@kagakukanQ.com

千葉市科学フェスタwebサイト <http://www.chibashi-science-festa.com>

----- 以下、FAXで応募される方は必要事項を記入し、そのままFAXで送信してください。 -----

- (1) 希望するイベントに○をつけてください。(1)地震学研究 (2)防災コミュニケーション (3)対話型講義 (4)放射線教室
(複数のイベント同時申込可能)

※の項目は参加者全員分

(2) 氏名、ふりがな※

(3) 年齢※

(4) 性別※

(5) 学年または職業※

(6) 郵便番号、住所

(7) 電話番号

- (8) イベント4「放射線教室」を希望した方のみご希望の日程(9日もしくは10日)と時間帯(①または②)

ご希望の日程に○をつけてください。 9日 ・ 10日

ご希望の時間帯に○をつけてください。 ①10:00~11:30 ・ ②14:00~15:30

FAX番号 : 043-308-0520